

講義名	コミュニケーション心理学		
科目区分	学部フリーゾーン		
担当教員	西尾 範博 / 池田 曜子		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 2時限		
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2019年度 人間社会学部 観光学科 / 2019年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2019年度 経済学部 経済情報学科 / 2019年度 経済学部 経済学科 / 2019年度 商学部 マーケティング学科 / 2019年度 商学部 経営学科		
履修開始年次	1年生	単位数	2
		講義コード	52036

主題と概要

コミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を理解したあと、コミュニケーションを心理学、とりわけカウンセリング心理学の知見から捉え、教師と生徒の人間関係において相互理解と信頼が生まれ、教師が生徒の成長を促すことができる質の高いコミュニケーションのあり方について理解を深め、実践し、教育効果を高める契機を提供する。なお、授業中に個人が課題に取り組んだり、グループワークをしたりする機会も多く設け、双方向性の高い学生参加型の授業をおこない、学生の理解度と学習効果を高めていきたい。

到達目標

- ・コミュニケーションに関する基礎的・基本的な知識を理解し、説明できる。
- ・非受容を示すコミュニケーション、受容を示すコミュニケーションがどのようなものかを理解し、説明できる。
- ・カウンセラーが身につけているコミュニケーション力に関する知識を理解し、説明できる。
- ・生徒との間で相互理解と信頼が生まれ、成長を促すコミュニケーション能力を身につけ、その能力の向上を目指し、日常的に実践する。
- ・問題を抱えた生徒の助けとなる教師になれるよう相手の真意を理解し、受容するコミュニケーションの取り方について日常的に練習を積む。

提出課題

ほぼ毎回の授業で課すミニ・レポート、アンケート、および期末試験。

評価の基準

ほぼ毎回の授業で課すミニ課題と試験をもとに到達目標に照らして総合的に評価する。

履修にあたっての注意・助言他

- ・毎回熱心にノートを取り、学ぶこと。
- ・わからないことや疑問はそのままにせず積極的に挙手して質問すること。
- ・授業中に学んだことを教室の中で終わらせずに日常生活において実際に試してみる、練習していただくこと。

教科書

・使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業中に随時プリント資料を配布し、参考文献を紹介する。

授業計画

1. 自分自身を知る：自己紹介を通して理解を深める（担当：池田）
2. 価値観の違いを知る(1)：他者の意見を理解する（担当：池田）
3. 価値観の違いを知る(2)：「思い込み」「先入観」に気づく（担当：池田）
4. 話す、聴く、応える(1)：基本的な心構え（担当：池田）
5. 話す、聴く、応える(2)：自分の話し方、聴き方、応え方を知る（担当：池田）
6. コミュニケーションにおける非受容性と受容性（担当：西尾）
7. 非受容的なコミュニケーション(1)：問題を抱えた生徒の対応を誤った教師の事例（担当：西尾）
8. 非受容的なコミュニケーション(2)：不満を抱えた息子の対応を誤った父親の事例（担当：西尾）
9. 受容的なコミュニケーション(1)：「聴くこと」の3つの心理学的効果（担当：西尾）
10. 受容的なコミュニケーション(2)：「同じ方向をみる」「つきあう」という姿勢
11. 受容的なコミュニケーション(3)：受容に徹する態度の事例（受容と許容の違い）（担当：西尾）
12. 受容的なコミュニケーション(4)：共感と感情的癒着・同一化（担当：西尾）
13. アクティブ・リスニングの理論（担当：西尾）
14. アクティブ・リスニングの実践例（担当：西尾）
15. 全体総括：他者受容と自己受容（担当：西尾）

予習・復習

毎回学んだことをノートや配布プリントを使って復習すること（1時間程度）。また、次の授業日までに学んだことを日常生活において一週間かけて（3時間程度）試したり練習したりすることを次の授業の予習とする。

備考